

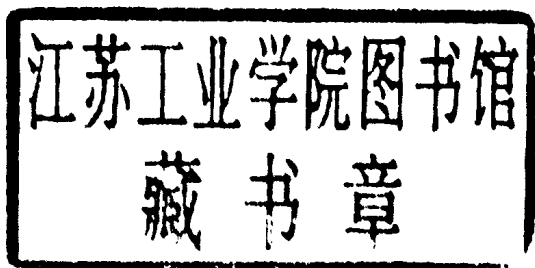
喜壽
記念

図書館関係論文集

加藤宗厚著

喜壽
記念
図書館関係論文集 付 年譜

加 藤 宗 厚 著



喜寿
記念 図書館関係論文集 付 年譜

1971年11月30日 発行

著者 加藤宗厚

発行 加藤宗厚先生喜寿記念会

発売 社団法人 日本図書館協会

東京都台東区上野公園12-51

電話 (03) 828-6336~8

印刷・船舶印刷 製本・富士製本

刊行のことば

加藤宗厚先生が、喜の齢に達せられたことを寿ぎ、ここに友人・後学たちが、あいはかって「喜寿記念論文集」一卷を刊行し、これを先生の机辺に贈ることを企画した。

たまたま、加藤先生から、ご自身が過去に発表された主として分類・目録に関する諸論文のうちから自選し、一冊にまとめて上梓したいというご希望があったので、記念会としては、先生の論文集としてここに出版することにした次第である。

先生の図書館事業に尽くされたご功績については、改めて多く述べるまでもない。とくに「図書分類法要説」をはじめとする多くの著書・論文は、わが国図書館の整理技術の確立に多大の貢献をされた。そればかりでなく、図書館長として経営の実際について、また、図書館学教授として多数の図書館員の養成に尽くされた。まことに先生は現代図書館活動の大先達であられる。

先生の半世紀に及ぶ御尽力と御功績に尊敬と感謝の念を深めるとともに、いま先生の珠玉の諸論文をまとめて刊行できたことを心から喜ぶものである。この編集・校正に先生自らを煩わし、また刊行のおくれたことをお詫び申し上げたい。

どうか、先生には、あくまでもおすこやかに、そして後進の指導に、また図書館界の発展に一層力を貸して下さるよう、おねがいしつつ、この「論文集」を捧げる次第である。

1971年11月3日

加藤宗厚先生喜寿記念会世話人

叶沢 清介

鳥居美和子

服部金太郎

古野 健雄

村上 清造

もりきよし

山下 栄

ま え が き

ここに収録した34篇の論文・小品は過去45年余にわたる図書館生活の間に「図書館雑誌」をはじめ、種々の雑誌、新聞、会報等に寄稿したものの中からおよそその三分の一を抄出したものである。

青年図書館員連盟の機関誌「圏研究」に寄稿したものは同研究が戦後覆刻されたので除外した。「図書館雑誌」に寄稿したもののうち翻訳または単なる紹介に類するものも一切除外した。

これ等の論稿が何時如何なる事情によって執筆されたかは各論文のあとの埋草およびまずしい著作と共に附録の年譜によってほぼ明らかにしているので参照されたい。

45年余の図書館生活における前15年は帝国図書館の一職員として専ら件名目録の作成に従事し、図書分類法の研究に興味をもち、図書館講習所に関係していたのでこの方面のものが比較的多くをしめている。その後の30年余は富山県立図書館長、東京都立深川図書館長、文部省社会教育局の嘱託、国立図書館長（後、国立国会図書館支部上野図書館長）を経て今は駒沢大学図書館長兼教授の職にあるので、経営に関するものが多い。この間には、戦後文部省によって刊行された「学校図書館の手引」の編集に参画し、家の光協会の委嘱によって「農協文庫の手びき」を著わし、図書館職員養成所（現、図書館短期大学）、東洋

大学，鶴見女子大学の講義にも関係しているので形式的にはわが国のあらゆる図書館に関係をもったといい得るであろう。

しかし浅学短才にしてなすところなかったことはまことにおはずかしい次第である。

ともあれ今年は喜寿の年にあたり私にとっては図書館生活45年の記念すべき年でもあるし，若干の人々のすすめもあるので，このつたない業績をとりまとめることとした。

したがって，これはいわゆる金字塔ではなくてまずしい一個の墓標にすぎないが，今後わが国図書館界に生涯をささげようとする人々にとっての跳躍台の役割を果し得るならば私にとってはまことに望外のよろこびといわなければならない。

昭和46年7月

目 次

口 絵

まえがき	1
------------	---

図書分類法関係

1 Parker の分類表について	7
2 分類規程試案	17
3 第19世紀末における英国図書分類界の一瞥	41
4 学校図書館の手引とNDC	50
5 国立国会図書館とNDC	64
6 比較分類法	84
7 NDCの将来	105
8 図書分類法研究白書	124
9 戦後における分類の諸問題	178
10 図書分類学上における語学と文学	211
11 語学共通区分と文学形式区分	234

図書目録法・図書整理法関係

12 著者主記入論	259
12-a 著者主記入再論	278
13 日本における件名目録の成長とその諸問題	298
14 学校用件名標目表の比較研究	320
15 印刷カードの話	356
16 件名目録の運命	359
17 大学図書館利用促進のための図書整理法	387
18 目録とその背景	402
19 Cataloguing and Classification of Books in Japan	425

図書館経営関係

20	北支図書館瞥見記	437
21	図書館経営の諸問題	454
22	日本の図書館の現状及び将来	476
23	国会図書館法の成立をめぐって	497
24	国立図書館の現状	505
25	上野図書館80年	520

読書問題と小品

26	仏教と読書	525
27	読書雑記	544
28	信じ得ざる悩み	555
29	叱り方・叱られ方	566
30	にが手	569
31	療養に想う	573
32	酒とたばこと碁	574
33	植樹説法	576
34	図書館人の自戒十条	578
	あとがき	580
	索引	581
	付 加藤宗厚年譜	587

圖書分類法關係

1 Parker の分類表について

(図雑 第22巻第2号 1928)

緒 言

偶然の機会が人をして往々ある企てをなさしむることのあるのは誰しも経験するところである。昭和3年1月11日の午後、一は午後の疲れを休めんがために、一は本年始めよりの閲覧室の様替を見んとして特別室の新刊棚の前に立ったのである。この時 **Library classification—Parker** なる書は異様に余の目を牽いた。時はすでに退庁10分前である。Note すべき何物をも有していない余は、書架の前に佇立して頁を繰り、終って目録室に下った。余の脳中已に時間の制限などは問題ではなくなった。そして **Parker** の他の著もがなと著者名目録を検索して見た。然るに計らざりき、ここにまた同氏同著の初版を発見したのである。

余がこの分類表に特殊の興味を覚えたのには二つの理由がある。一は余がかつて **Brown** の **Library classification and cataloguing** の53頁に刺激されて調査した **Schwartz** の **Mnemonic system of classification** (他日発表したいと考えている) に酷似している点であり、他は **Decimal, Expansive** の両分類法によって世界の図書館界に偉大なる寄与をなしている合衆国において、これ等分類法の原則を無視した分類表が已に3版を重ね相当の利用を得ている点である。更に著者 **Parker** がその自叙に実際の図書館事業に従事すること51年と記している。その51年の研究の結果がこの分類表となったと聞いては真に敬服に堪えない。

余は **Parker** の人となりについては何等知るところがない。 **Cannons** の **Bibliography** をも参照したが論文の発表されたものも見当らない。したがって次に叙述せんとすることは本分類表の紹介と漫評に過ぎない。

1. 初版と3版

Parker の分類表は、初版1910年、再版1910年、3版1926年で、帝国図書館所蔵のものは初版と3版とである。両者共に著者の寄贈本で初版の受入は明治34年10月18日3版は昭和2年9月3日である。余はここに著者の厚意に感謝の意を表したいと思う。

なお両者の外観について言えば、共に菊判大であるが、初版は仮装96頁、3版は本装204頁である。

2. 本分類表の緒言

緒言は初版と3版とにおいて多少の相異を示しているが、ここには便宜第3版のものを紹介する。

この system はでき得る限り助記的 (mnemonic) になっている。これは公衆及び館員を助けんがためである。

この分類表は一つの系統の下に排列されている。故に各 sub-class はその main class と関係があり、その部分をなすものである。そしてこれは3つの部分に分れている。class は大字(A)(B)を以ってあらわし、sub-class は小字(b)(c)等を以ってあらわし、division は(3)(4)等の数字を以ってあらわす。

この system はここに掲げた表よりも一層広く展開することができる。何となればこれには alphabet の全部を用いてはない。(訳者註 I. K. O. Q. W. X. Y. Z. は main class として使用していないから main class は全部で18である。) 故に必要なに応じて main class を入れるために空欄としてある。また sub-class または division も極僅かしか使用していない。

図書の分類は第一に subject 第二に著者名結合番号 (Author's numbered combination), 第三に図書の頭字または書名による。例えば Fiske の American Revolution の記号は Hu. 44059a でその中 Hu はこの書の subject. 4 は sub-class. 4059 は Fiske の著者番号, a はこの書の

頭字である。

但し伝記にあっては被伝者の名の下におき **sub-class** は著者名の頭字を以ってする。自叙伝の場合には **sub-letter** を使用しない。

著者名は正しき名を用いて変名を用いてはならぬ。著者名なき書は書名の初語を著者名の如く扱い著者名結合番号を見出してこれに付けよ、小説には分類をあらわす文字も番号をも使用せず、書名の **abc** 順に排列せよ。(以下二節は第3版にのみ述べられている。)

公衆の便宜のため、また混乱を防ぐために **K. N.** を以って **L** 及び **O** に代用する。それは **L** と **O** とはタイプライターにおいては **1** 及び **0** のように見えるからである。

また場合によっては同一の頭字例えば **Da. Do** で始まるものが数種あり、また伝記の如きは同じ頭字のものが沢山ある。例えば **Life of Washington** と称する書には **Seelye, Sparks, Stoddard** 等の著わしたものがある。この場合には次の表によって **B. 9479, s-2**; **B. 9479, s-6** 及び **B. 9479, s-8** とする。(註—9479 は **Was** に相当する番号である。)

sub-number の表

AよりCまでは1	IよりKまでは4	RよりSまでは7
DよりFまでは2	LよりMまでは5	TよりVまでは8
GよりHまでは3	NよりPまでは6	WよりZまでは9

(註—上の **Seelye** の **Se** は **S** 中の2であるから **s-2**, **Sparks** の **Sp** は **S** 中の6であるから **s-6**, **Stoddard** の **St** は **S** 中の8であるから **s-8** とする。)

以上はこの分類表の使用法についての唯一の手引である。次に本文第一部として **scheme** の全体が初版においては18頁まで、3版においては20頁までを占め、第二部番号表 (**numbering system**) が掲げられ、(初版はこれにて終り) 第三部には **scheme** に対する特殊索引 (**Specific index**) が収められている。以下順次これを説明しよう。

3. 分類表の梗概

A Agricultural Science	J Jurisprudence and Law
B Biography	L Literature
C Commerce, Military and Naval Science, Navigation, Ship and Yacht Building	M Medical Science
D Domestic Arts	N Natural Sciences
E Education, Business, Language Philosophy	P Physics, Electricity, Mathematics
F Fine Arts	R Reports, Public Documents
G General Works	S Social and Political Science
H History	T Theology and Religion
	U Useful Arts
	V Voyages and Travels

Class の助記的排列は初版3版共に変化はない。Sub-class 及び division は 3 版においては著しい増訂があるからその例としてAの Agricultural Science を比較対照して見よう。なお 3 版項目の総数は約3200である。

(新旧比較表は次頁参照)

この如き増訂は恐らく初版が余りに粗なために図書の分類に窮し、3 版において一大改訂を加え将来の新項目挿入の余地を作ったものであろう。

4. 番号表につきて

番号表は初版 3 版全く同じで1001より9999の8999個の番号を次の如く配している。

A	1001	Abbot	1007	Abrahams	1023
Aarons	1002	Abbott	1008	Adams	1045
Ab	1003	Abc	1009	American	1181
Abb	1004	Abd	1010	Zwil	9998
Abbe	1005	Abe	1011	Zwir	9999
Abbey	1006	(以下中略あり)			

となっている。この表は大部分著者記号として使用されるようであるが必ずしも著者記号には限られていないようである。表中の

Albany	1102	Atlas	1331	Napoli	6804
American	1181	California	2396	Roman	7728
Architecture	1251	Electricity	3775		

の如きは果して著者名に該当すべきものであろうか。この点については著者の説明がないので疑問としてここに掲げ先輩の示教を仰ぐ次第である。

索引は分類表にあらわれた一切の項目を abc 順にしたものである。

5. 本分類表の批評

本分類表の主眼点は mnemonic にあるから、批評も自ら mnemonic に対して向けられなければならぬ。今つぎにこれを数節に分って批評して見よう。

(1) 発案者に対して mnemonic なるものは同時に館員及び利用者に対しても mnemonic となり得るか。

試みに余が先に調査せる Schwartz 及び Botsford の mnemonic と対照して見よう。(12~13p の対照表参照)

初 版		比 較 表	三 版	
A	Agriculture - General Works, Fairs, Implements, etc.		A	Agriculture—General Works.
Ab	Bees, Silk-Worms.		A1	Exhibitions, Fairs, etc.
Ad	Domestic Animals—Cattle, Goats, Horses, Pigs, Sheep etc.		A2	Implements, Machinery.
Ad1	Poultry, Pigeons.		A3	Domestic Animals, Dogs, etc.
Ad2	Dairy Farming, Grazing, Ve- terinary Sciences.		A4	Dairy Farming, Grazing, Ca- ttle, Sheep, Goats, Pigs.
			A5	Dairy Farming, Butter, Che- ese, Milk.
			A6	Veterinary Science, Horse, Stable.
			A7	Poultry, Pigeons.

		A8	Bees, Silk-Worms.
		A9	Country Life.
Af	Farming—Cereals, Corn, Flox Oats, Rye, etc.	Af	Farming—General Works.
Af1	Coffee, Cotton, Tea, etc.	Af1	Soils, Soil Draining, etc.
Af2	Vegetable Products of a Te- mperate Climate.	Af2	Products of a Temperate Cli- mate.
		Af6	Tropical Product, Coffee, Tea, Cotton.
		Af8	Pests.
		Af9	Trees and Forestry.
Ag	Gardening — Flowers, Horti- culture, Window Garden- ing.	Ag	Gardening—General Works.
Ag1	Grape Culture, Fruits.	Ag1	Vegetables, Kitchen and Small Crops.
		Ag3	Grape Culture, Fruits.
		Ag4	Orchards.
		Ag5	Floriculture.
Al	Landscape and Ornamental Gardening—Arbors, etc.	Ag6	Ornamental and Landscape Gardening.
		Ag7	Hedges, Arbors.
		Ag8	Ferns, Cactus.
As	Soils and Soil Draining, etc.	Ag9	Cemeteries.

	Botsford	Schwartz	Parker
A	Arts.	Arts, Fine and Useful.	Agricultural Science.
B	Biography.	Biography.	Biography.
C	—	Customs, Archaeology, etc.	Commerce, Military, etc.
D	Drama and Poetry.	Drama and Poetry.	Domestic Arts.
E	—	Europe—History and Travels.	Education, Business, etc.

F Fiction.	Fiction and Juveniles.	Fine Arts.
G —	Governments, etc.	General Works.
H History.	History, General.	History.
J —	Jurisprudence.	Jurisprudence, etc.
K —	Language.	—
L Literature.	Literature.	Literature.
M Medicine.	Mental & Moral Science.	Medical Science.
N Natural History.	Natural History.	Natural Science.
O —	Oriental History & Travel.	—
P Philosophy.	Periodicals.	Physics, Electricity, etc.
R Religion.	Reference & Rare Books.	Reports, Public Documents.
S Science.	Science.	Social & Political Science.
T Travels.	Theology.	Theology & Religion.
U —	U. S. History & Travel.	Useful Arts.
V —	Voyages & Travels.	Voyages & Travels.
W —	Works, Colleted.	—

となっている。故に3氏に共通な mnemonic は B. H. L. N. の4であり、Parker と Schwartz に共通なものはこの外に J. T. があり、Parker と Botsford に共通なものには別に M がある。

然して3氏に共通なるもの必ずしも一般に一致すべきものとは断言することができぬ。かくて発案者にとって mnemonic なるものも他に対しては mnemonic の効用を発揮することは不可能なりと言わざるを得ない。

更に mnemonic の大なる欠点として挙ぐべきは compound された class においては、第二以下の subject は全くこれを無視せざるを得ない
例えば

C Commerce, Militaly and Naval Science, Navigation, Ship and Yacht Building.